

品質食味を重視した福島県水稲オリジナル品種 「天のつぶ」の生育目標値

福島県農業総合センター 作物園芸部・稲作科
農業短期大学校農学部・研究科
浜地域研究所

1 部門名

水稲一水稲一品種、生育診断予測、品質・食味、収量構成要素、施肥法

2 担当者

濱名健雄・遠藤智哉・鈴木幸雄

3 要旨

福島県水稲オリジナル品種「天のつぶ」の品質、食味を重視した目標収量は中通り地方では60～63kg/a、浜通り地方は57～60kg/aであり、目標生育量は以下の通りである。

- (1) 「天のつぶ」の成熟期、幼穂形成期の目標生育量を農業総合センター内、及び同浜地域研究内の栽培試験の結果から策定した。
- (2) 検査等級1等、玄米タンパク質含有率の目標値を7.0%とした場合、目標収量は中通り地方で60～63kg/a、浜通り地方で57～60kg/aとした。
- (3) 目標収量を確保するための穂数は中通り地方では450本/m²、浜通り地方では420～430本/m²、m²当たり粒数はそれぞれ3.0～3.2万粒/m²と診断した。
- (4) 幼穂形成期の茎数と穂数、生育量と粒数には相関関係が認められた。幼穂形成期の目標生育量は中通り地方ではm²当たり茎数500～550本/m²、葉色(SPAD502値)で38、浜通り地方では茎数700本、葉色40と推定された。
- (5) 「天のつぶ」は多肥栽培にすると収量が増加するが、玄米タンパク質含有率も上昇するため、肥培管理は基肥0.6kg/a＋追肥0.2kg/aとし、追肥時期は幼穂形成期が望ましい。また葉色が目標値より濃い場合は減肥する等調整する。なお、栽培に当たってはたい肥や土壌改良資材を用い、土作りに努める。

表1 「天のつぶ」生育目標値

項目	目標値	
	中通り	浜通り
玄米タンパク質含有率(%)	7.0	7.0
検査等級	1等	1等
成熟期・ 収穫期		
収量(kg/a)	60～63	57～60
登熟歩合(%)	85～90	85～90
穂数(本/m ²)	450	420～430
粒数(万粒/m ²)	3.0～3.2	3.0～3.2
幼穂形成期		
茎数(本/m ²)	500～550	700
葉色(SPAD502値)	38	40

(作物園芸部・稲作科：平成22年、浜地域研究所：平成20～22年)

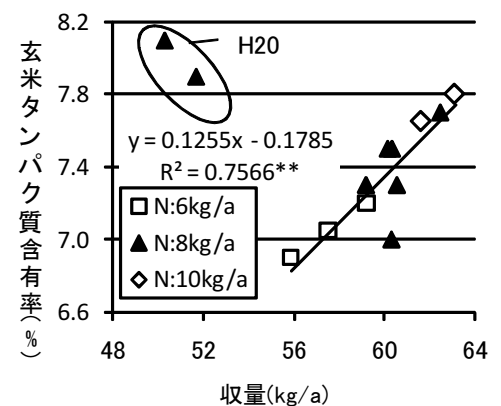


図1 収量と玄米タンパク質含有率
(浜地域研究所、平成21、22年)

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度～22年度センター試験成績概要